

平成30年度施設防災責任者連絡協議会が、 重井医科学研究所で開催されました。

平成30年11月15日(木)16時~17時 出席者：木畑理事長、西中理事

1. 開会の辞 西崎哲一先生

私たち災害対策本部としては、災害に備え日々の訓練を怠ることはなかったのですが、この1月に本番が来て、岡山県でこんな災害があるのかと、本当に驚きました。このような大災害の中でも、透析患者さんが、災害が直接の原因でお亡くなりなられた方はいませんでした。その後亡くなられたのは数名おられますが、1月7日を中心に災害で直接亡くなった方はいません。そこには、透析施設の先生方、スタッフの皆さんの本当に心強いご協力があったからこそと、心より感謝申し上げます。

2. お礼の言葉 木畑理事長

まび記念病院約100名の透析患者、私もそのうちの1人ですが、転院に際してこの防災ネットワークにより、倉敷、岡山をはじめ6地区にスムーズに移送受入れをして頂き短時間透析やイレギュラーな時間帯での透析も無く、通常の条件で透析を実施して頂きました。県腎協、まび記念病院患者会を代表して、お礼を申し上げます。

3. 報告会 「平成30年度中国5県合同透析施設防災訓練結果報告」



高梁市に対して、「よき福祉医療制度」を求める要望書を提出。

平成30年11月29日(木) 10時~10時半

要望事項

1. 高梁市独自の施策の継続実施

- (1) 高齢者福祉移送サービス制度の継続 (2) 人工透析患者
交通費助成制度の継続

2. 高梁市心身障害者医療費給付の改善

- (1) 自己負担軽減のお願い
- (2) 高梁市心身障害者医療給付の改善

《懇談内容》

今回の豪雨災害について、近藤市長より高梁市の状況説明がありました。災害発生後2~3日は交通遮断で移動できず、病院スタッフの交代が出来なかった。断水の懸念もあったが、多くの方々の支援で水の確保は出来た。近藤市長からは、今回の体験から、災害に強い街づくりを心がけるとの、心強いお話がありました。



高梁市：近藤市長、宮本部長（健康福祉部）
川上課長（健康福祉課）、石田市議、
高梁中央病院腎友会：川上会長、小野氏
岡山県腎臓病協議会：木畑理事長
《高梁市役所 3F 市長応接室》